

## 【(1) 学習のルール

### ②－１「聞くときの姿勢や態度を文字や絵で示している」

#### 《つまずきの背景》

C 記憶力の弱さ、L セルフモニタリングの困難さ、M 自己コントロールの困難さ、  
N 注意の持続の困難さ

#### 《解説》

聞くときの姿勢や態度についてのルールを学級や学校全体で決めたり、示したりすることで、子どもはどのように行動すればよいかが分かりやすくなり、教師も一貫した指導をすることができます。また、学習のルールを掲示することで、いつでも確認することができます。

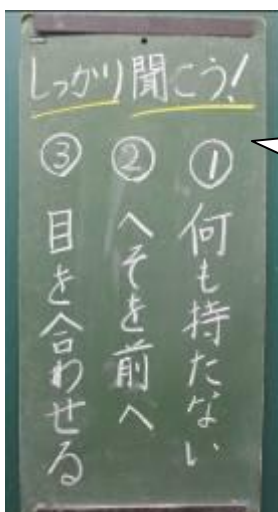
学級の中には、「ちゃんと聞きなさい」と言われても、どう行動すればよいのか分かりにくい子どもや、理解してもすぐ忘れてしまう子どもがいる場合があります。ルールを決め、示すことで、どうすればよいかが分かりやすくなります。

聞くときの姿勢や態度を教室の前面に掲示することで、子どもがいつでも確認することができます、正しい姿勢や態度を守ろうとする意識付けになります。

#### 【工夫点】

- ・聞くときのルールを教室の前に掲示する。(小中 工夫例6)
- ・聞くときの姿勢を絵で示す。(小 工夫例7)

#### ◆工夫例6 「聞くときのルールを教室の前に掲示する」



#### 《小学校》

聞くときのルールを教室の前面黒板に掲示します。

教師が短冊を指差して注意を促したり、子どもが見て気が付いたりするなど、少しずつしっかり聞こうとする意識が育ってきます。

#### ◆工夫例7 「聞くときの姿勢を絵で示している」



#### 《小学校》

聞くときの正しい姿勢について教室の前面に絵と合い言葉を掲示します。

教師は合言葉を言いながら注意を促すことができます。また、子ども同士で合言葉を言いながら確認し合ったりすることにもつながります。